Information Only

フィリピン　アウトルック

2016年6月

Global Advisory Department

LEAD THE VALUE

SMBC

三井住友銀行
グローバル・アドバイザリー部

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、一般に信頼できると思われるデータに基づき作成致しておりますが、その信憑性・正確性を保証するものではありません。また、本資料はお客さまの参考資料の目的でのみご利用いただきたく、お客さま及びお客さま担当会計士・税理士・弁護士等の専門家以外の法人・個人に対して本資料の全部もしくは一部の引用、複写、転送、開示をされることは、ご遠慮いただきますようお願い致します。最後のページに当資料の利用に関する留意点を掲載しています。

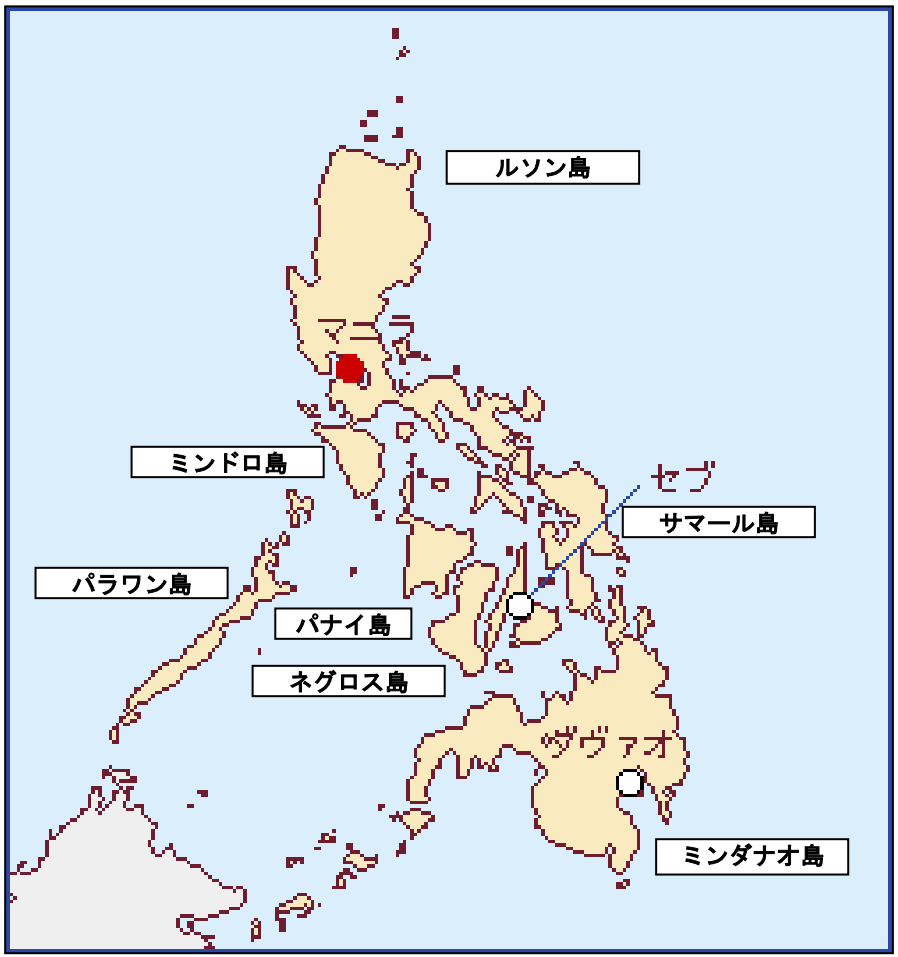
フィリピンの概要

Information Only

- 日本から南南西約3,000kmの距離に位置し、8つの大きな島を中心に、7,100以上の島々からなる群島国家。
- スペインや米国による支配の影響で、国民の90%以上がキリスト教信者であり、欧米文化と土着文化が混在。

国名	フィリピン共和国 （Republic of the Philippines）
面積	29.9万平方キロメートル（日本の約8割）
人口	10,215万人（2015年） （世界第12位、ASEAN第2位）
名目GDP	2,920億ドル（2015年） （インドネシア：8,590 億ドル、タイ：3,953億ドル ベトナム：1,915億ドル）
首都	マニラ 首都圏人口1,288万人（2015年）
言語	フィリピノ語及び英語 （80前後の言語がある）
宗教	カトリック（83%）、その他のキリスト教（10%） イスラム教（5%）
政体	立憲共和制
元首(大統領)	ベニグノ・アキノ3世 （2010年6月30日就任　任期6年） ロドリゴ・ドゥテルテ （2016年6月30日就任予定　任期6年）
議会	二院制（上院24議席／下院297議席）

（出所）IMF「World Economic Outlook」2016年4月版、外務省ウェブサイト「国・地域情報」、フィリピン統計局（PSA）ウェブサイト



SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

フィリピンの魅力

Information Only

- ◆ 英語が堪能で、高い教育を受けた労働人口が豊富。賃金上昇率が低いうえ、労務管理を行いやすい。
- ◆ 海外出稼ぎ労働者（OFW：Overseas Filipino Workers）に下支えされた個人消費の拡大により、国内市場が成長。

1. 豊富で質の高い労働力

(1) 人口の40%以上が20歳未満であり、生産年齢人口の比率が高い期間が長く続く。
(2) 賃金上昇率が5%程度と低いことに加え、親日度が高く、労働争議が少ない。
(3) 小学校1年から英語の授業があり、英語公用語国のうち人口は第3位。
- ➢ コールセンターやIT関連業務のアウトソーシング先として、IT-BPO（Business Process Outsourcing)産業が成長。

2. 巨大な国内消費市場

(1) GDPの約7割を占める個人消費により、国内市場が成長。
(2) 中間所得層の拡大や、GDPの約1割を占めるOFW送金により、個人消費が増加。

3. 外資導入に積極的

(1) 投資優先計画による優遇措置の適用など、製造業・サービス業共に、政府は外資導入に積極的。
(2) 2015年、日本からの直接投資額は世界第2位。

＜トピックス＞

(1) 2016年5月の大統領選挙において、ダバオ市長のロドリゴ・ドゥテルテ氏が当選。6月30日に大統領就任予定。
(2) 国家賃金生産性委員会（NWPC）は、2016年6月からマニラ首都圏の最低賃金について、1日あたり10ペソの引き上げを決定。
(3) フィリピン貿易産業省は、国内における物流コストの削減を目的とした「フィリピン物流ロードマップ」の策定を推進。
- ➢ 企業の負担軽減や国際競争力の強化を目指し、バタンガス州やスービック湾自由港などのマニラ首都圏以外における港湾開発計画を含むインフラ整備のほか、物流システムの改善を内容としている。

（出所）各種報道

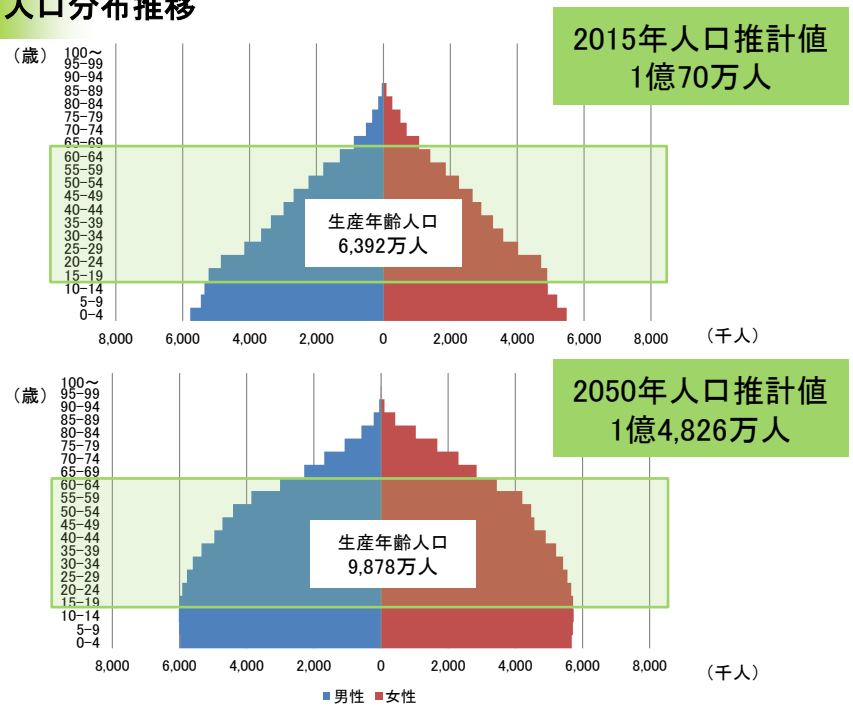
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

フィリピンの労働力動向

Information Only

- ◆ 生産年齢人口の増加が見込まれ、今後も豊富な労働力の供給が可能。
- ◆ 平均年齢が若く、合計特殊出生率も高いため、今後も継続して若年労働力を確保できる見込み。

人口分布推移



年	2010年	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年
人口（億人）	0.93	1.01	1.08	1.24	1.37	1.48

（出所）国際連合ウェブサイト「World Population Prospects, the 2015 Revision」
（注）生産年齢人口は、15歳以上65歳未満の人口層。2015年以降の人口は、国連推計値。なお、IMF WEO最新値（2016/4）では、2015年人口は1億215万人。

本格的な人口ボーナス期が2050年ごろまで続き、豊富な労働力が得られる

ASEAN10カ国における平均年齢、合計特殊出生率のランキング

順位	国名	平均年齢（歳）
1	ラオス	22.3
2	フィリピン	23.2
3	カンボジア	24.5
4	ミャンマー	27.1
5	マレーシア	27.9
6	ブルネイ	29.6
6	インドネシア	29.6
6	ベトナム	29.6
9	シンガポール	34.0
10	タイ	36.7
（参考）	日本	46.5

順位	国名	合計特殊出生率（%）
1	ラオス	2.99
2	フィリピン	2.98
3	カンボジア	2.64
4	インドネシア	2.46
5	ミャンマー	2.20
6	ベトナム	1.96
7	マレーシア	1.94
8	ブルネイ	1.87
9	タイ	1.51
10	シンガポール	1.25
（参考）	日本	1.42

（出所）CIA「The World Factbook」、世界銀行ウェブサイト「Fertility rate, total」、国連人口基金「The 2014 Myanmar Population and Housing Census」
（注）平均年齢は2015年値（但し、ミャンマーのみ2014年値）。合計特殊出生率は2014年値。

平均年齢が若く、合計特殊出生率も高いため、引き続き若年労働力が得られる

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

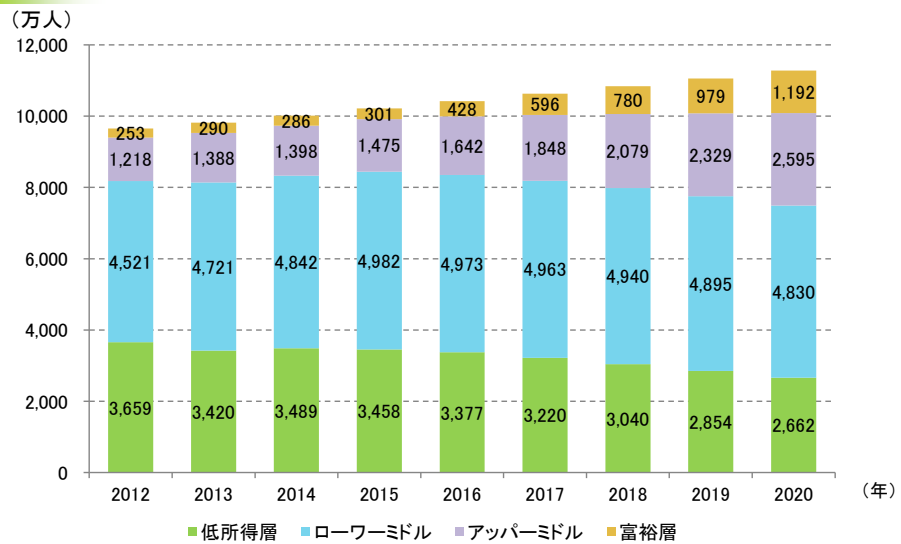
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

フィリピンの経済動向

Information Only

- ◆ 中間所得層人口の増加により、国内消費市場が拡大中。
- ◆ １人当たりGDPは2017年に3,000ドルを突破する見込み。

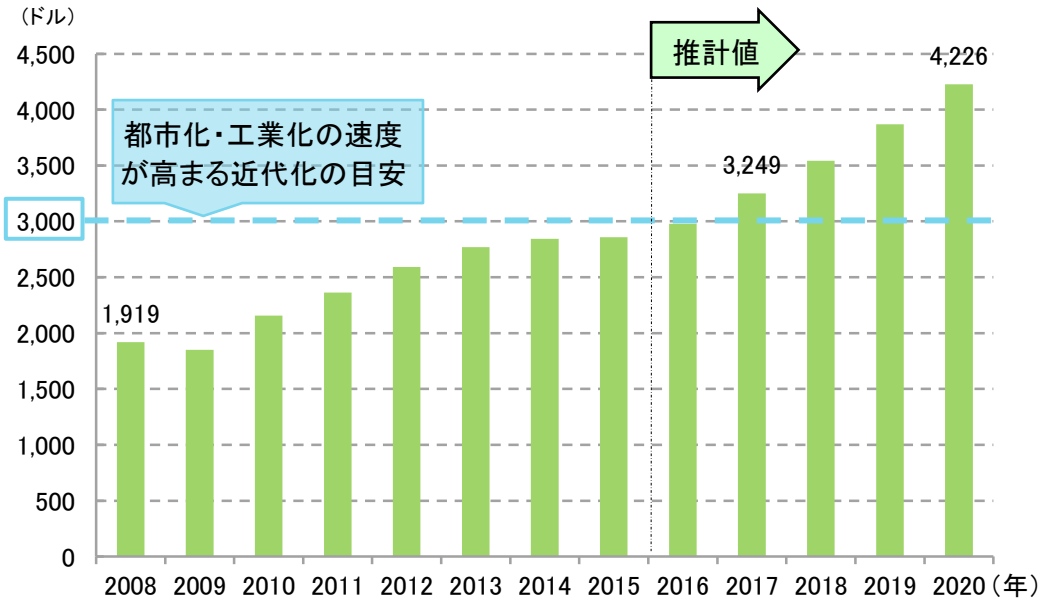
所得層別人口の推移



		世帯年間可処分所得
富裕層		35,000ドル以上
中間所得層	アッパーミドル	15,000ドル以上～35,000ドル未満
	ローワーミドル	5,000ドル以上～15,000ドル未満
低所得層		5,000ドル未満

（出所）Euromonitor International「Passport」、IMF「World Economic Outlook」2016年4月版
（注）富裕層／中間所得層／低所得層の定義は、「平成27年版通商白書」に基づく。世帯可処分所得別の家計人口を各所得層の家計比率×人口で算出。

1人当たりGDP額の推移



実質GDP成長率（%）	4.2	1.1	7.6	3.7	6.7	7.1	6.1	5.8	6.0	6.2	6.3	6.4	6.5

（出所）IMF「World Economic Outlook」2016年4月版

中間所得層の人口割合が高まり、消費の拡大が期待される

2017年には、近代化の目安である1人当たりGDP額3,000ドルを突破する見込み

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

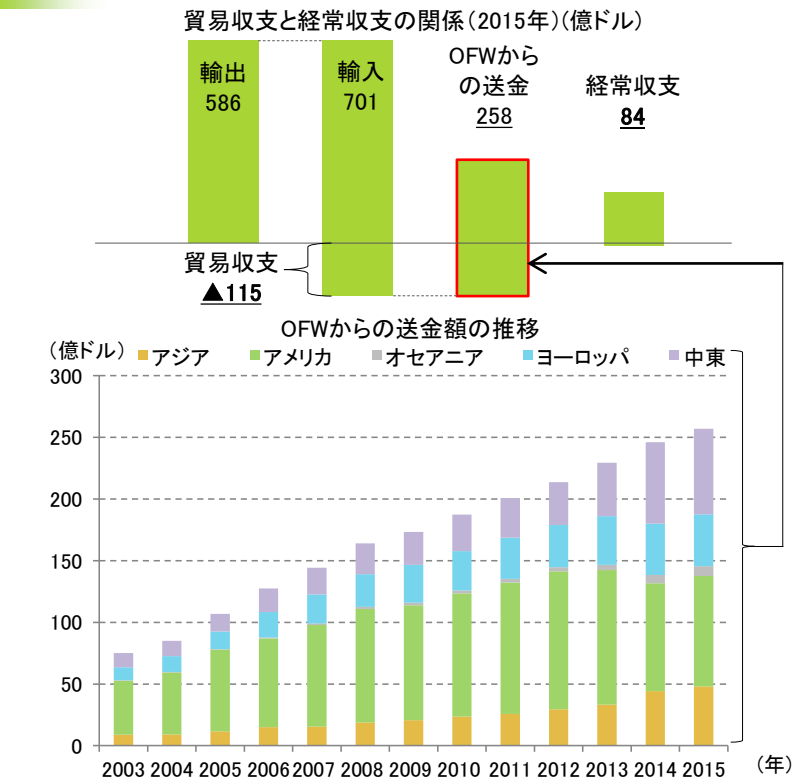
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

フィリピンの海外送金動向

Information Only

- ◆ OFWからの送金は増加し続け、個人消費が拡大。
- ◆ 2014年の国・地域別の海外送金受取総額は、世界第3位。

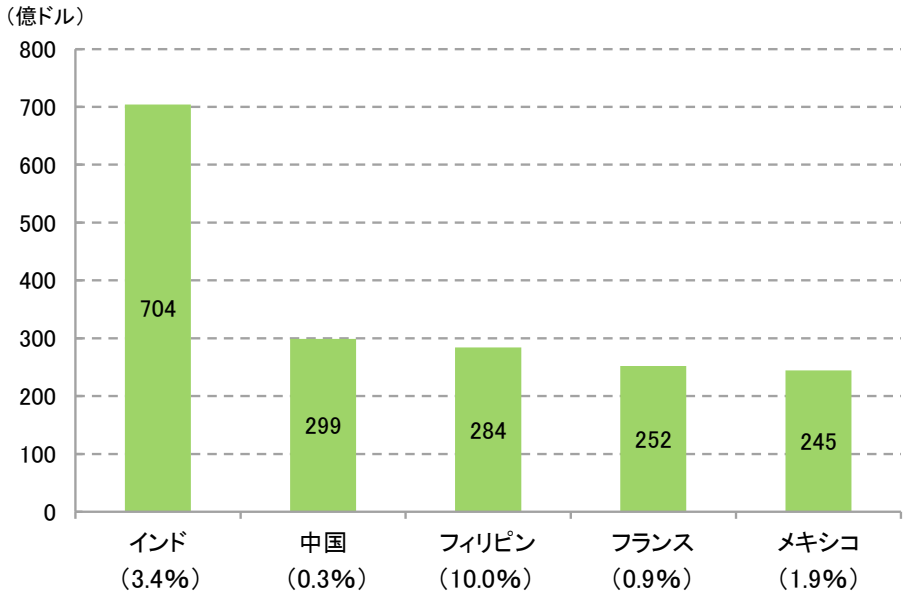
フィリピンの経済構造



（出所）フィリピン中央銀行（BSP）ウェブサイト「Monetary, External and Financial Statistics」、IMF「World Economic Outlook」2016年4月版

名目GDPの約1割に相当する海外からの送金が、個人消費額を押し上げている

海外送金受取額ランキング（2014年）



（出所）世界銀行「Personal remittances, received」
（注）括弧内は名目GDPに占める送金額の割合。

国・地域別の海外送金受取額は世界第3位で、名目GDPに占める割合は上位5カ国中最も高い

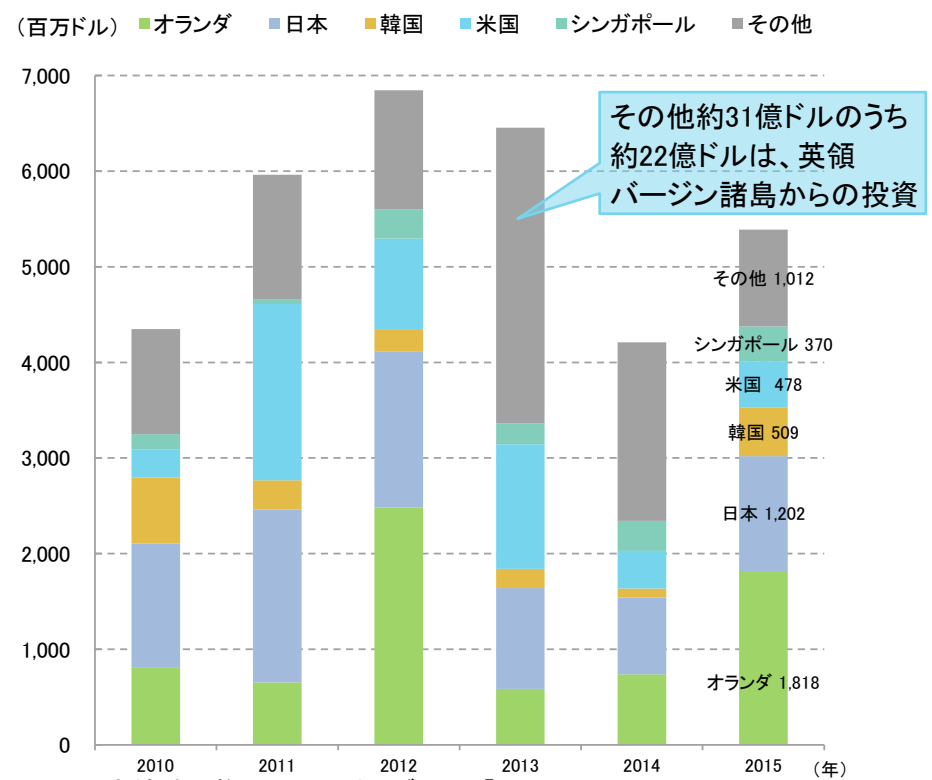
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

フィリピンの投資・産業動向

Information Only

- 国・地域別の外国直接投資額は、日本が世界第2位。
- 商業や住宅・不動産など、第三次産業の比率が高い。

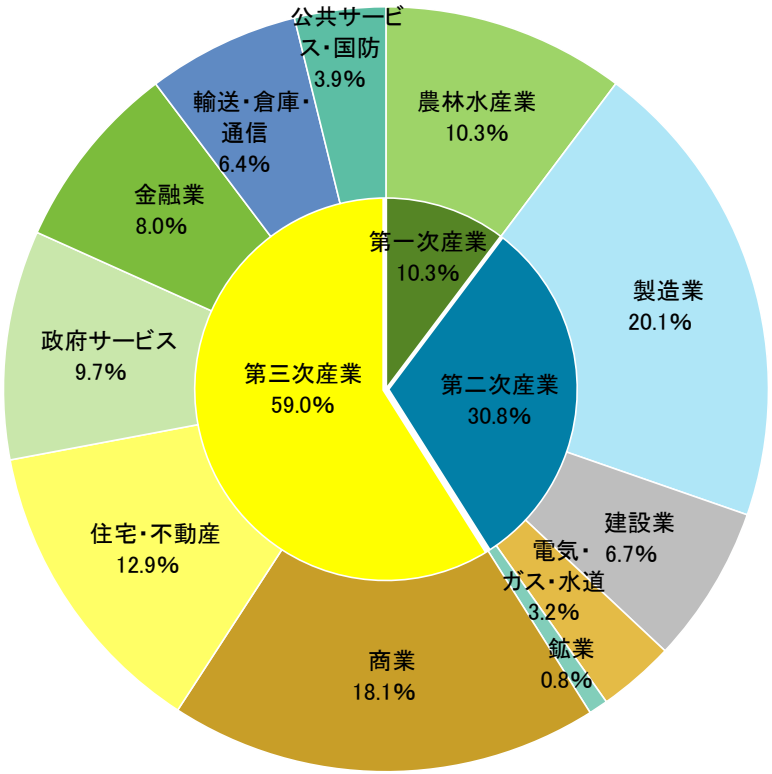
外国直接投資の総額及び各国内訳



（出所）国家統計調整局(NSCB)ウェブサイト「Foreign Investments」

国・地域別の外国直接投資額は、2015年、日本が世界第2位

産業構造（名目GDP内訳：2015年）



（出所）国家統計調整局(NSCB)ウェブサイト「National Accounts of the Philippines」
（注）各割合は小数第二位を四捨五入しているため、合計は100%にはならない。

商業や住宅・不動産など、第三次産業が発展

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

主要経済指標

Information Only

		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
GDP	名目GDP（億ドル）	1,685	1,996	2,241	2,501	2,719	2,848	2,920
	実質GDP成長率（%）	1.1	7.6	3.7	6.7	7.1	6.1	5.8
	1人当たりGDP（ドル）	1,851	2,155	2,364	2,591	2,770	2,844	2,858
国際収支指標	経常収支（億ドル）	84	72	56	69	114	108	84
	経常収支対GDP比（%）	5.0	3.6	2.5	2.8	4.2	3.8	2.9
	貿易収支（億ドル）	▲ 74	▲ 70	▲ 158	▲ 138	▲ 90	▲ 66	▲115
	輸出（億ドル）	384	515	483	521	566	621	586
	輸入（億ドル）	459	585	641	658	656	687	701
	外貨準備（億ドル、年末）	442	624	753	838	832	795	807
	対外債務残高（億ドル、年末）	549	600	604	799	785	777	775
景気指標	失業率（%）	7.5	7.3	7.0	7.0	7.1	6.8	6.3
	消費者物価上昇率（%）	4.2	3.8	4.7	3.2	2.9	4.2	1.4
	製造業生産指数伸び率（ポイント）	▲ 19.6	21.9	3.2	10.8	8.9	10.9	▲8.2
財政・金融指標	政策金利（翌日物借入金利、%、年末）	4.0	4.0	4.5	3.5	3.5	4.0	4.0
為替・株	為替レート（対米ドル、年平均）	47.7	45.1	43.3	42.2	42.4	44.4	45.5
	株価指数（フィリピン証券取引所株価指数、年末）	3,053	4,201	4,372	5,813	5,890	7,231	6,952

（出所）国家統計局（NSO）ウェブサイト、フィリピン中央銀行（BSP）ウェブサイト、IMF「World Economic Outlook」2016年4月版、CEIC他

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

ASEAN地域の市場

Information Only

◆ ASEAN10カ国の人口合計：約6.3億人、名目GDPの合計：約2.4兆ドル。

◆ フィリピンはASEAN10カ国の中で人口第2位、名目GDP第5位。

（2015年）

国（地域）	名目GDP	1人当たりGDP	人　口	実質GDP成長率	日系企業進出拠点数（注）	貿易額	法定最低賃金（月額・首都圏）	賃金水準 作業員・一般工職（月額・首都圏）
インドネシア	8,590億ドル	3,362ドル	25,546万人	4.8%	1,766拠点	輸出：1,504億ドル 輸入：1,427億ドル	214ドル	252ドル
タイ	3,953億ドル	5,742ドル	6,884万人	2.8%	1,641拠点	輸出：2,110億ドル 輸入：2,019億ドル	218ドル ※24日/月で計算	363ドル
マレーシア	2,962億ドル	9,557ドル	3,100万人	5.0%	1,347拠点	輸出：1,999億ドル 輸入：1,760億ドル	254ドル	418ドル
シンガポール	2,927億ドル	52,888ドル	554万人	2.0%	779拠点	輸出：3,466億ドル 輸入：2,967億ドル	なし	1,526ドル
フィリピン	2,920億ドル	2,858ドル	10,215万人	5.8%	1,521拠点	輸出：　586億ドル 輸入：　701億ドル	240ドル ※24日/月で計算	268ドル
ベトナム	1,915億ドル	2,088ドル	9,168万人	6.7%	1,452拠点	輸出：1,621億ドル 輸入：1,628億ドル	146ドル ※ハノイの場合	173ドル
ミャンマー	670億ドル	1,292ドル	5,185万人	7.0%	259拠点	輸出：　113億ドル（注） 輸入：　162億ドル（注）	n.a.	127ドル
ブルネイ	118億ドル	28,237ドル	42万人	▲ 0.2%	10拠点	輸出：　121億ドル（注） 輸入：　61億ドル（注）	n.a.	n.a.
カンボジア	182億ドル	1,168ドル	1,554万人	6.9%	182拠点	輸出：　108億ドル（注） 輸入：　135億ドル（注）	128ドル	113ドル
ラオス	125億ドル	1,779ドル	703万人	7.0%	114拠点	輸出：　27億ドル（注） 輸入：　33億ドル（注）	77ドル	111ドル

（出所）ジェトロウェブサイト「投資コスト比較」、IMF「World Economic Outlook」2016年4月版、世界銀行「世界開発指標（WDI）」、外務省ウェブサイト「海外在留邦人数調査統計」
（注）2014年の値。

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

Information Only

重要事項及びお問合せ先

- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものです。特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームに関する申し出や勧誘を意図したものではなく、また特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームの提供をお約束するものでもありません。

- 本資料は一般に信頼できると思われるデータに基づき作成しておりますが、その信憑性・正確性を保証するものではありません。本資料の利用に関してはお客さまご自身でご判断下さいますようお願い致します。

- 本資料記載の情報は、今後の経済情勢・マーケット動向等の変化により、内容に変更が生じる場合があります。また、本資料に記載する見解や評価は記載時点でのもので、将来の変動を正確に予想することも困難です。最終的にはお客さまの相場観に基づいてご判断下さいますようお願い致します。なお、本資料に金融商品・サービス等の記載がある場合、当該金融商品・サービス等はお客さまに適切なものであるとは限りません。

- 本資料記載の情報に関する会計・税務・法務面の問題点の有無につきましては、会計士・税理士・弁護士等の専門家と十分にご相談下さいますようお願い致します。

- 本資料はお客さまの参考資料の目的でのみご利用いただきたく、お客さま及びお客さま担当会計士・税理士・弁護士等の専門家以外の法人・個人に対して本資料の全部もしくは一部を引用、複写、転送、開示されることはご遠慮いただきますようお願い致します。

本資料についてのご照会は、

お取引店までお問い合わせください。

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.